カードゲームを大人になってから、やるべき２つの理由

私の人生で、群を抜いて思考を使った活動がカードゲームでした。

大学生の時、友人の一人に誘われて、ポケモンのカードゲームを始めました。最初は「誰がポケモンなんてやるかｗ」と思っていましたが、取り敢えず暇潰しに始めてみました。

カードゲームをやるなんて、小学生の時にやっていた遊戯王以来。当時は適当に寄せ集めのカードでやっており、ほとんどの試合に負けていましたし、別に負ける事を何とも思っていなかった。しかし、私も歳を取り、思考力が上がり、プライドも芽生え、財力を手にした。

ポケモンカードゲームを始めた当初は、寄せ集めの雑魚カードで負けまくりでしたが、カードゲームと言う知の格闘で負ける事を私のプライドは許さなかった。財力を使って、カードを買い、数々の死闘を繰り広げた。思考を恐ろしいほどに使い過ぎて、試合が終われば、バーベルスクワットを限界まで行ったかのような、疲れよう。

しかし、自分の思考力が鍛えられていると脳科学的な事実と頭を使っていると言う感覚は病み付き物。

と言う事で、思考を鍛えると言う観点でカードゲームを行うべき２つの理由をご紹介します。

**１．ありとあらゆる選択肢を思考する癖と力を養える**

ビジネス然り、人生然り、何かしらの決断や判断を日々、下しています。その際に大事なのは、複数の選択肢を示唆した上で決断判断を下す事。複数の選択肢を踏まえた上で、決断判断を下すと最終的に選択した選択肢が良い選択になる確率が上がる事は研究された事実。

カードゲームをやると、幾つもの攻める選択肢がある。どれもこれも比較し検討した上で、最前の決断を下すと言う癖を付け、選択肢に対して思考する力を養う事が出来るようになる。

**２．相手の視点から物事を見る癖と力を養える**

ビジネス然り、人生然り、相手の立場に立って物事を見る事は大事。何故なら、相手が欲しい物や相手の痛みが分かればそれに訴求する事、利用する事も可能。

カードゲームでは自分の手札とフィールドのカードを見ているだけでは、ダメ。相手の視点から、自分のカードはどう見えているのか？と言う事や、相手の手札の枚数とフィールドを見て、どんな事を考えているのか？次は何をするのか？と言うように、相手の視点から物事を見る癖を付け、相手の立場に立って物事を見る思考力を養う事が出来るようになる。

カードゲームとは人生と似ている。

幾ら入念にデッキのデッキ（仕事）の準備をしても、あらゆる選択肢を示唆しても、相手の立場に立って物事を見ても、勝てないデュエルもある。「ここで、あのカードが来たら、勝てる！」「ドロー！！」とカードを引いても、運悪く、そのカードが来ない事の方が人生では多い。

しかし、大事なのは、敗戦から学び、再び戦略を練り直し、デッキを組み換える事。それを繰り返す事によって、思考は成長し、あなたの力で未来を作る事だって出来る。

最後に、遊戯王から海馬瀬人の名言を一つ。「オレは未来などに導かれはしない!オレの踏み印したロード!それが未来となるのだ」